

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	都市整備課	総務課	
------	-------	-----	--

基本目標	3 みんなで“守る”～思いやりのある安全・安心なまちづくり～
施策	14 住環境

事業の内容	具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1 計画的な土地利用と良好な市街地形成	都市マスタープランに基づき計画的な土地利用を図った。 扶桑町宅地開発事業等に関する事前協議により適切な土地利用を図った。	A	A
2 空き家対策と有効活用	空家の適正管理について周知・啓発を行った。危険な空家の除却や、住民活動団体が空家を拠点として改修することに対する補助金制度について活用に向けた周知を図った。	A	B
3 人にやさしい街づくり	公共施設のバリアフリー化、民間施設のバリアフリー化誘導、ソフト面でのバリアフリー化の周知を図った。	A	A
4			
5			
6			

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(R04)	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
1 公共施設のバリアフリー化数	公共施設のバリアフリー化対象施設及び設備(520か所)のうち、バリアフリー化が済んだ数(か所)	312	314	317	317	317	322
		317	×	○	○	○	○
2							
3							
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題

- ・高雄東部において、引き続き計画的な土地利用推進に向けた事業を行う。また、扶桑町宅地開発事業等に関する事前協議により適切な土地利用を引き続き図っていく。
- ・危険な空家の除却や、住民活動団体が空家を拠点として改修することに対する補助金制度の効果的な制度周知に加え、実効性の高い制度としていく必要がある。
- ・複数の保育園にてトイレの洋式化をおこなったことにより、目標値に達した。設置及び整備数については、予算的な部分よるところが大きいため、今後は目標値をどのように設定するかが課題である。

評価を踏まえた来年度以降の改善策

- ・計画的な土地利用と良好な市街地形成については、計画や要綱に沿って、事業等を行っていく。特に高雄東部については、都市計画法第34条第12号エリアとして県指定が得られるよう準備を進める。
- ・空家の利活用や適正管理について、引き続き周知・啓発を行う。
- ・人にやさしい街づくりについては、施設及びソフト面のバリアフリー化への理解を得るよう、引き続き、周知、指導を中心におこなっていくと共に、今後の目標設定について、状況を把握しつつ整理をおこなう。

※1 事業の実効性
 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%)
 C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度
 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%)
 C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)